



マンモトーム生検を受ける患者さんへ

マンモトーム生検とは

病変の一部に針を刺し、組織を吸引・採取する検査です。
ベットに横向きに寝ていただき、マンモグラフィー装置で胸を挟みます。
撮影した画像で病変の位置を確認し、
局所麻酔で痛みを抑え、皮膚を数mm切開します。
切開した位置に針を刺し入れ、組織を採取します。
採取後、採取した場所に目印として小さな金属マーカを留置します。
(マーカはMRI等の検査に支障ありません。)
最後に圧迫止血して終了です。

検査の注意点

1

当日は**前開きの服**でお越しください。
(検査後の腕の上下による出血を防ぐためです)

2

検査後にブラジャーは着用してかまいませんが、
止血ガーゼの厚みで使用できないことがあります。
→薄着でお越しになる場合、羽織りものをお持ちください。

3

検査当日の**激しい運動・飲酒・入浴**はお控えください。

4

検査後2～3日は重いものを持たないようにしてください。



問い合わせ先

044-977-8111 (代表)

平日：聖マリアンナ医科大学病院 乳腺外科外来
休日：聖マリアンナ医科大学病院 救命センター